

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		シルバー人材センター運営支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 後藤 博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名 野口 政浩
	基本事業	48	高齢者の働く場の提供	所属班	高齢者保険班	(内線) 2115
				法令根拠	高齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
	1	3	1	4	10447			コスト削減優先度評価結果	3

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 9 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 定年退職等で引退した高齢者等に就業機会を提供するための事業に対する助成。会員数の増を図る。
【業務の流れ】
 社団法人合志市シルバー人材センター補助金支払事務、県への補助金交付事務、実績報告事務、補助金請求事務。
【主な予算費目】
 負担金補助及び交付金(補助金)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) (社)合志市シルバー人材センターに補助金を支払う。 熊本県へ補助金申請をおこなう。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア市シルバー人材センターが運営できる (単位) → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 (社)合志市シルバー人材センター	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) アシルバー人材センター数 (単位) → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑に運営できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) アシルバー人材センター会員数 (単位) → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 収入が確保できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) アシルバー人材センター会員数 (単位) → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円	500	2,875	2,753	2,753	2,753			
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	8,125	5,750	5,508	5,508	5,508	8,261	8,261		
	(A) 事業費計	千円	8,625	8,625	8,261	8,261	8,261	8,261	8,261		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	人	4	4	4	2	4	4	4		
正規職員従事人数	人	4	4	4	2	4	4	4			
延べ業務時間	時間	21	21	21	54	21	21	21			
(B)人件費計	千円	83	84	84	215	84	84	84			
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,708	8,709	8,345	8,476	8,345	8,345	8,261			
活動指標	件	2750	2569	2600	2600	2650	2700	2750	目 標 数 計 画 22 年 度		
対象指標	人	1	1	1	1	1	1	1			
成果指標	人	222	230	280	240	290	300	310			
上位成果指標	人	222	230	280	290	290	300	310			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成9年シルバー人材センター設立から
 平成19年3月29日社団法人となる。
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 契約額、会員数、延べ就業日数ともに増えている。
 団塊の世代が定年退職を向かえ、今後退職高齢者の雇用の確保が必要となるなか、就業先に確保と新規事業の開拓が急務となってくる。
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 会員から高齢者等の就業をもっと増やしてほしい。
 市民からシルバー人材センターへの仕事の問い合わせがある。

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 高齢者の就業の機会を提供している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 法に定める高齢者の雇用の機会を提供することは市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 今後高齢者の数は増加しシルバー人材センター会員は増加する見込みであり、高齢者の雇用確保のためにも、組織の強化拡大と事務局職員の確保が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 高齢者の退職と年金受給期間まで国においてもさまざまな政策に取り組んでいるものの、高齢者の再雇用は非常に厳しいものがある。高齢者の雇用の確保のためにも市のシルバー人材センターの事業拡大させる必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 高齢者を雇用できる組織がなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 契約額の1割を事務費としているが、作業における燃料費や消耗品費となっている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 県への補助金申請業務がなくなれば、人件費の削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 法に基づくシルバー人材センターなので費用の一部を負担することは公平公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、高齢者の雇用をするために組織の拡大と強化が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後高齢者の数は増加しシルバー人材センター会員は増加する見込みであり、高齢者の雇用確保のためにも、組織の強化拡大と事務局職員の確保が必要である。 高齢者の退職と年金受給期間まで国においてもさまざまな政策に取り組んでいるものの、高齢者の再雇用は非常に厳しいものがある。高齢者の雇用の確保のためにも市のシルバー人材センターの事業拡大させる必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

就業を確保するために新たに事業を拡大する必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)